

【2018年4月1日から共立病院内で緩和ケア科の診察を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

緩和ケアを専門とする医療者が常勤していない地域連携病院（共立病院）に緩和ケアを専門とする医師が定期的に診療することの実態調査

【研究背景・目的】

緩和ケアは、広く地域全体への普及することが求められているが、地域の医療者が専門的緩和ケアのトレーニングを受ける機会に恵まれているとはいえません。

地域医療の中心的役割を果たしながらも、まだその診療に関するスキルや知識が十分ではない診療機関のために、専門家が定期訪問して共に診療に携わる診療形態があり、概して「アウトリーチサービス」と呼ばれています。

本邦では在宅医療を中心に緩和ケアのアウトリーチサービスが検討されてきましたが、一般化されて広く推奨されるアウトリーチプログラム事業は存在しておりません。特に、いわゆる慢性期病院（介護療養病棟、医療介護病棟、地域包括ケア病棟等を有する病院を指す）を対象とした専門的緩和ケアのアウトリーチサービスに関する報告は乏しい状況です。

飯塚病院緩和ケア科では、地域の代表的な慢性期病院である医療法人社団親和会共立病院（以下、共立病院）と連携し、同院を週2回訪問しコンサルテーション業務等のアウトリーチプログラム事業を行ってきました。本研究を通して一地域の慢性期病院の緩和ケアのニーズや実態を明らかにすることで、今後汎用性や継続性が確保された緩和医療のアウトリーチプログラムを構築していくための基礎調査となることが期待されます。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、西暦 2019 年 1 月 25 日から 2022 年 12 月 31 日までです。
- ・対象：2018 年 4 月から 12 月までの間、共立病院に入院しており、緩和ケア科医師が直接診察を行った患者です

・取得情報、および他施設へ提供する情報：

- ①基本データ：入院日、介入開始日、介入開始時点での患者の年齢、性別、主疾患、併存疾患、全身合併症（Charlson Comorbidity Index）、CVカテーテルの有無、経鼻栄養や胃瘻の有無、栄養状態、身体抑制の有無とその種類、栄養状態、ECOGのperformance status
- ②医療者データ：主治医の年齢、性別、臨床経験年数、症状の評価とマネジメントを中心とした緩和ケアのための医師の継続教育プログラム（PEACE：Palliative care Emphasis program on symptom management and Assessment for Continuous medical Education）受講の有無
- ③アウトリーチデータ：緩和ケア科医師が検討した項目、推奨した内容の記録、面談内容、侵襲的処置の内容

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承ください。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院では研究に使用しました患者さんの診療記録等は共立病院に保存してあります。患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院および共立病院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院 緩和ケア科 大屋清文

<共同研究施設における研究組織>

- ・ 主管施設名：飯塚病院 緩和ケア科
- ・ 研究責任者：医療法人社団親和会共立病院 氏名：古瀬俊一郎
東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野 氏名：田上恵太

【問い合わせ先】

飯塚病院 緩和ケア科 大屋清文
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83
TEL：0948-22-3800（代表）